

### はじめに:かすがいシティバスについて

### 1. かすがいシティバスの運行目的

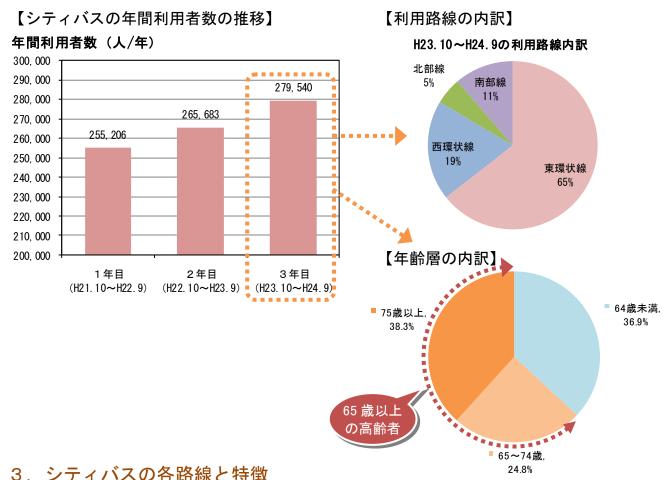
- ●平成14年度より運行を開始したかすがいシティバスは、平成21年10月の大幅な路線見直しを経て、 現在の4路線で運行しています。
- ●この大幅見直しを検討した際(H19~H21)の、シティバスの運行目的は、次の3つです。
- ●この運行目的に照らし、今のシティバスの利用状況や、市民の皆様からのニーズを受けて、今後の 利用改善について検討していくものとします。

### シティバスの運行目的

- 昼間帯における高齢者の市内の移動手段の提供
  - ・高齢者の日中の移動手段の確保を中心に設定
  - ・とくに通院や買い物等に使いやすいように設定
- 公共交通空白地域の解消
  - 「公共交通空白地域」をできる限り減らし、移動できる生活環境を提供
  - ・とくに、高齢者の多い地域などに重点的に配置
- 市民病院や市役所など公共施設への接続
  - 春日井市民病院や市役所など公共施設へのアクセス手段を確保
  - ・外来診療の受付時間や、市役所での会議の開始時間に間に合う ダイヤ設定

### 2. かすがいシティバスの利用状況

- ●路線の大幅な見直しを実施した平成 21 年以後、シティバスの年間利用者数は堅調にのびています。
- ●最近1年間(H23.10~H24.9)では、年間約28万人の方が利用しています。
- ●利用者の多くは東環状線利用者 (65%、約 18.0 万人) であり、次いで西環状線 (19%、約 5.3 万人)、 北部線(5%、約1.4万人)、南部線(11%、約3.2万人)です。
- ●また、利用者全体の6割以上が65歳以上の高齢者となっています。

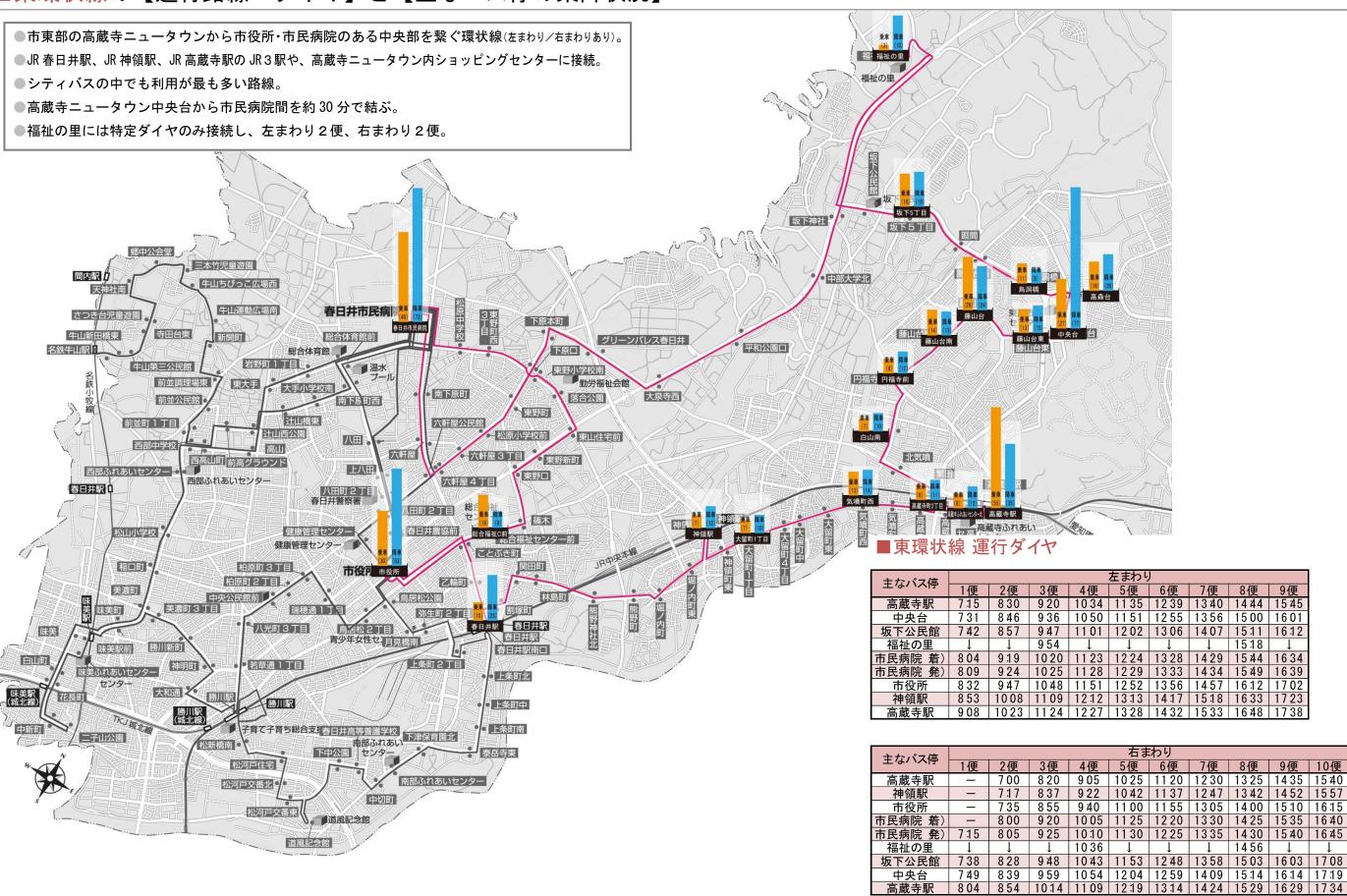


### ■3.シティバスの各路線と特徴

- ●シティバス4路線の運行経路及び運行ダイヤは次頁以降に示す通りです。
- ●全てのシティバス路線は、市役所と市民病院で乗り継ぎができるよう、路線の設定やダイヤの設定 に配慮しています。
- ●どの路線でも市民病院、市役所や JR 駅のバス停で利用が多くなっています。

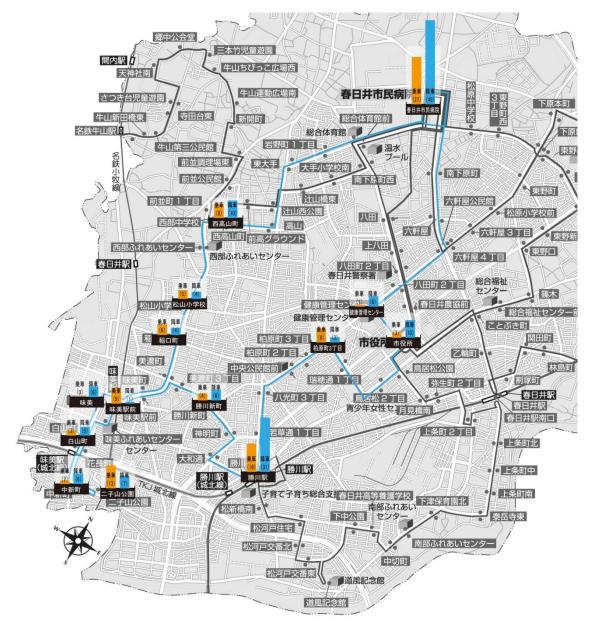
市内

### ■東環状線の【運行路線・ダイヤ】と【主なバス停の乗降状況】



### ■西環状線の【運行路線・ダイヤ】と【主なバス停の乗降状況】

- ●市西部の味美地区から市役所・市民病院のある中央部を繋ぐ環状線(左まわり/右まわりあり)。
- ●JR 勝川駅に接続。
- ●二子山公園から市民病院間を約25分(右まわり)で結ぶ。



### ■西環状線 運行ダイヤ

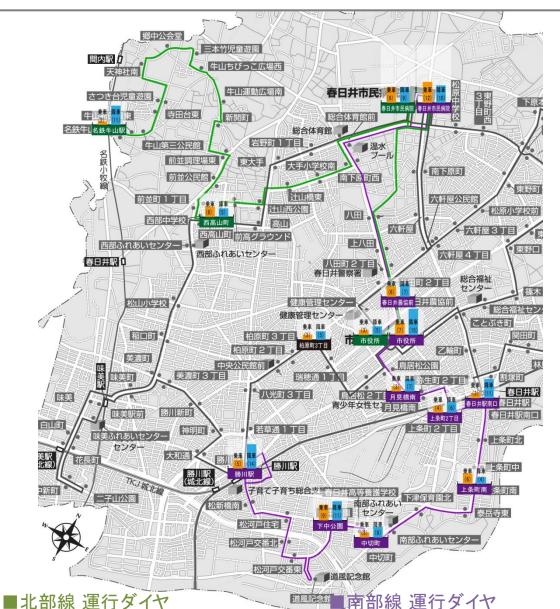
主なバス停	左まわり						
エなハヘ庁	1便	2便	3便	4便	5便	6便	
二子山公園	7:15	8 5 5	1040	12:15	1345	1520	
勝川駅	734	914	1059	1234	1404	1539	
市役所	7:47	9 2 7	11:12	1247	14:17	1552	
市民病院 着)	757	937	1122	1257	1427	1602	
市民病院 発)	816	9 5 5	1137	1307	1442	1612	
味美町	835	10:14	1156	1326	1501	1631	
二子山公園	8 4 3	1022	1204	1334	1509	1639	

主なバス停	右まわり						
エなハヘド	1便	2便	3便	4便	5便	6便	
二子山公園	730	9 0 5	1035	1220	1355	1525	
味美町	7 3 8	913	1043	1228	1403	1533	
市民病院 着)	754	929	1059	1244	1419	15 49	
市民病院 発)	815	939	1125	1300	1436	1607	
市役所	824	9 4 8	1134	1309	1445	16:16	
勝川駅	838	1002	11 48	1323	1459	1630	
二子山公園	854	1018	1204	1339	15:15	1646	

### ■北部線/南部線の【運行路線・ダイヤ】と【主なバス停の乗降状況】

- ●市西側の北部地域、南部地域と、市役所・市民病院のある中央部を繋ぐ往復路線。
- ●南部線は JR 勝川駅、JR 春日井駅に接続。北部線は名鉄牛山駅に接続。
- ●【北部線】名鉄牛山駅から市民病院間を約30分で結ぶ。

【南部線】JR勝川駅から市民病院間を約40分で結ぶ。



主なバス停	名鉄牛山駅⇒市役所					
エなハヘド	1便	2便	3便	4便	5便	
名鉄牛山駅	7 2 0	910	11:15	13:15	1505	
新開町	729	919	1124	1324	15:14	
市民病院	7 48	938	1148	1343	1533	
市役所	759	9 4 9	1159	1354	15 44	

主なバス停	市役所⇒名鉄牛山駅						
エなハヘア	1便	2便	3便	4便	5便		
市役所	8 2 2	10:17	12:17	1407	1557		
市民病院	8 3 3	1028	1228	1418	1608		
新開町	851	1046	1246	1436	1626		
名鉄牛山駅	901	1056	1256	1446	1636		

主なバス停	勝川駅⇒市民病院						
エなハヘア	1便	2便	3便	4便	5便		
勝川駅	7.17	917	11:17	1327	1517		
春日井駅南口	7 40	9 4 0	11 40	1350	15 40		
市役所	7 4 9	949	1149	1359	1549		
市民病院	7 58	9 5 8	1158	1408	1558		

主なバス停	市民病院⇒勝川駅						
エなハヘド	1便	2便	3便	4便	5便		
市民病院	818	1018	1228	14:18	1608		
市役所	8 30	1030	12:40	1430	1620		
春日井駅南口	8 3 9	1039	1249	1439	1629		
勝川駅	8 5 9	1059	1309	1459	1649		

### 1. 本年度のフォローアップ調査の内容について

- ●シティバスのフォローアップ調査のため、以下の2つのアンケート調査を実施しました。
- ●アンケートはシティバスサービスを利用する人に向けた【①シティバス利用者アンケート調査】と、 未利用者を含めた市民に向けた【②市内主要施設来訪者アンケート調査】の2種類実施しました。

### 【本年度に実施したアンケート調査の概要】

1 シティバス利用者アンケート調査(直接配布)

■調査日時 平成 24 年 12 月 20 日 (木)

■調査目的 シティバスの利用実態や、バス運行 で得られる効果、バスサービス水準

の向上に対する希望及び、路線やバス停の見直し等に資する情報を取得することを目的とします。

■調査対象シティバス平日全便の利用者全体

■調査方法 【配布】調査員 直接手渡し配布

【回収】郵送回収(返信封筒付き) ■回収状況 219 通回収(回収率 36.6%)

調査票 配布路線	配布数 (通)	回収数 (通)	回収率 (%)
東環状線	388	151	38. 9
西環状線	111	33	29. 7
北部線	31	17	54.8
南部線	69	18	26. 1
全回答	599	219	36. 6

- 市内主要施設来訪者アンケート調査(直接配布/施設留置き配布)
  - ■調査日時 平成 24 年 12 月 20 日 (木)
  - ■調査目的 市内で買い物や通院、公共施設での 用務等を行っている市民に対して、 各施設への来訪の実態やシティバ

各施設への来訪の実態やシティバス転換の可能性、希望するサービス水準、認知状況などを把握すること

を目的とします。

■調査対象 市内の主要施設への来訪者

■調査方法 <u>A:主要施設での直接聞取り調査</u>

【配布】調査員による聞取り調査 ※右表 1~9番

【回収】現場で回収

B:市内施設での留置き配布

【配布】公共施設での留置き配布 ※右表 10~25番

【回収】郵送回収(返信封筒付き)

■回収状況 1,011 通回収(A:聞取り867 通、B:留置き144 通)

調査種別		施設名	回答数	調査別
	1	市民病院	101	
	2	市役所	55	
	3	アピタ高蔵寺店	54	
(A)	4	東野ストア・カーマ	86	
聞き取り	5	ピアゴ中切店	110	86
調査	6	バロー春日井西店	120	
	7	高蔵寺駅	120	
	8	春日井駅	101	
	9	勝川駅	120 26	
	11	福祉の里	26	
		総合体育館・温水プール	_	
	12	健康管理センター	5	1
	13	勤労福祉会館・グリーンパレス	5	
(B) 留置き	14	総合福祉センター	20	
	15	青少年女性センター	5	
	16	中央公民館	5	
	17	西部ふれあいセンター	16	14
配布	18	味美ふれあいセンター	15	17
調査	19	南部ふれあいセンター	1	
_	20	高蔵寺ふれあいセンター	1	
	21	東部市民センター	19	
	22	坂下公民館	7	
	23	坂下出張所	9	
	24	知多公民館	2	
	25	鷹来公民館	8	

### 2. これからのシティバスの改善の方向性を探る「フォローアップ調査」

- ●シティバスの平成21年度の大幅な見直しでは「3つの目的」に基づきサービス内容を設定しました。
- ●次の4つのフォローアップ調査の視点に基づき、当時の3つの目的との整合を確認します。

シティバスの運行目的(見直し当時の目的)

型 昼間帯における 高齢者の市内の 移動手段の提供

型 公共交通空白 地域の解消

3 市民病院や市役所 など公共施設への 接続 フォローアップ調査の視点 (当時の目的に対する現在の評価)

### 視点① 公共交通空白地域の検証

- ○当時に比べ、バス路線変更があるか?
- ○当時に比べ、公共交通空白地域の特徴が変化しているか?

### 視点② 日常の移動手段としての浸透

- ○利用者数はどのように変化しているか?
- ○利用者の利用目的が、当初の運行目的にあっているか?

### 視点③ 通院、買い物の行き先

- ○市民病院への通院に利用されているか?
- ○通院、買い物のニーズに、今の路線が対応しているか?

### 視点④ 今の路線に対する要望

- ○新たなバス停、サービス向上への要望などがあるか?
- ○未利用者の転換を促すサービスの水準はどの程度か?

討

# 2. フォローアップの視点に基づく既存シティバスサービスの検証

### 視点 1 公共交通空白地域の検証

### 1. 見直し当時から現在までのバス路線の変更について

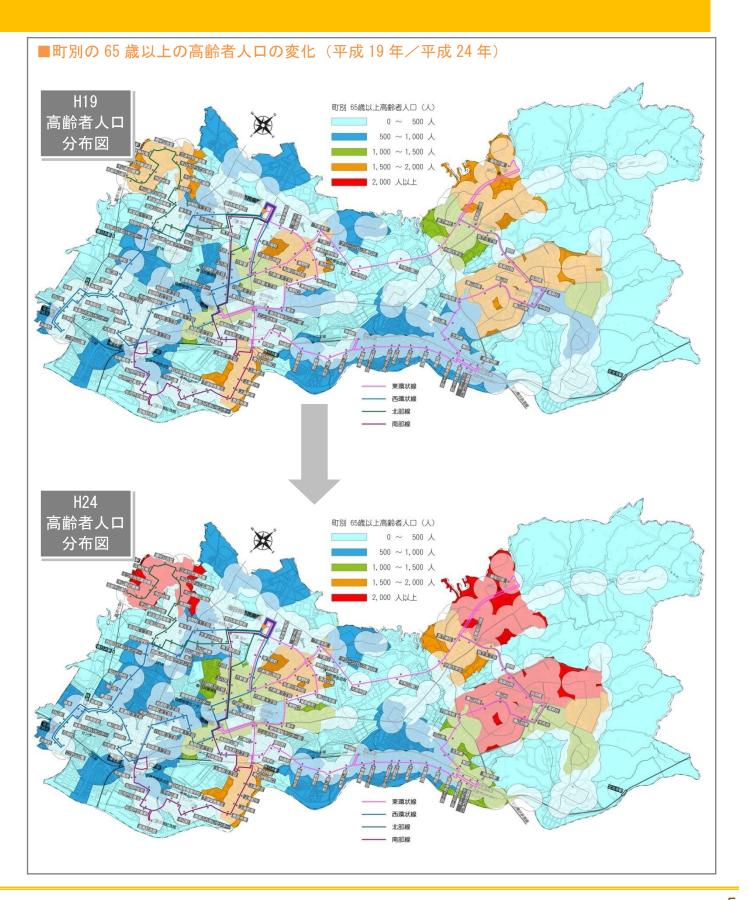
- 見直し当時からシティバス路線に変化はなく、公共交通空白地域に変化なし
- ○民間バス、商店街バス等の一部サービス変更は、空白地域に影響しない

### 【見直し以後の市内のバスサービスの変遷】

時期	内容
H21. 10	かすがいシティバス 環状線化及び新規路線(北部線、南部線)に路線見直し
H21. 10	JR 東海バス撤退に伴い、東野、玉野台循環等各線を名鉄バスが承継
	→路線の運営主体の変更のみ。公共交通空白地域に影響なし
H22. 1	春日井市商店街連合会運行バス かっちい廃止 (H20.12 運行開始)
	→既存路線のサービス範囲での運行であり、廃止による影響なし
H22. 12	サンマルシェ循環バス路線・ダイヤ変更(H18.4運行開始)

### 2. 公共交通空白地域の人口構成の変化について

- 全体的に高齢化が進行している
- 公共交通空白地域の高齢者人口の分布状況に大きな変化はない
- ※右図に記載の【平成19年/平成24年 高齢者人口分布図】をご参照ください。
- ※各地図の公共交通空白地域は、「バス停より半径 300m圏域外」を設定しています。



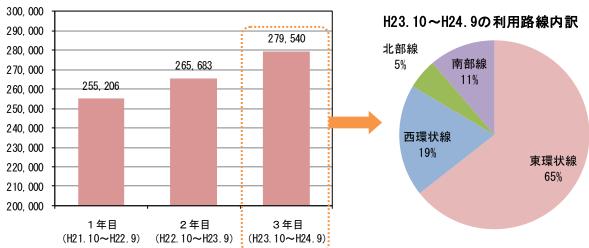
### 視点2 日常の移動手段としての浸透

### ■ 1. シティバスの利用者の推移

- ○利用者数は年々増加し、現在は約28万人の利用。日常の移動手段として浸透。
- ●昨年度から本年度にかけてとくに大きく増加。今後の継続的な増加に期待。
- 南部線は見直し直後より約2割増加。

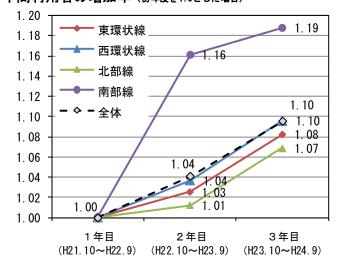
#### 【シティバスの年間利用者数の推移(再掲)】

#### 年間利用者数(人/年)



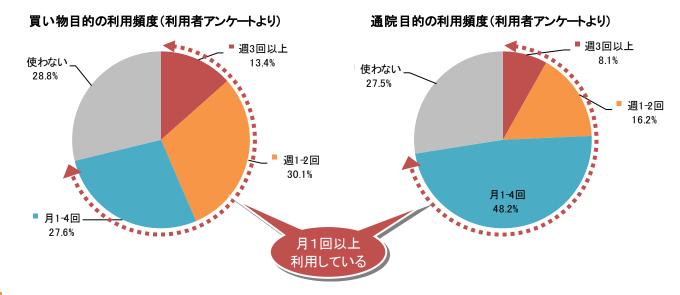
### 【シティバス見直し直後(H21.10)からの伸び率】

#### 年間利用者の増加率(初年度を1.0とした場合)



### 2. シティバス利用者の目的別利用頻度

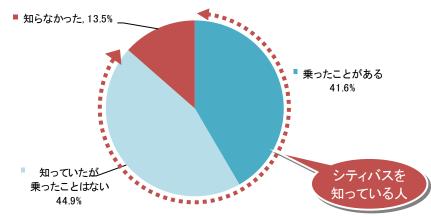
- 買い物や通院に、月1回は利用する人が約7割。
- とくに買い物では、週1回以上の利用が発生。日常的な移動手段として利用。



### 3.市内主要施設来訪者のシティバスの利用経験

- ○市内主要施設に訪れた人の約4割が、シティバスに「乗ったことがある」。
- 「知っていたが乗ったことはない」人を合わせると、約9割がシティバスを認知している状況。

### シティバスの利用経験(市内主要施設来訪者アンケートより)



### 視点3 通院、買い物の行き先

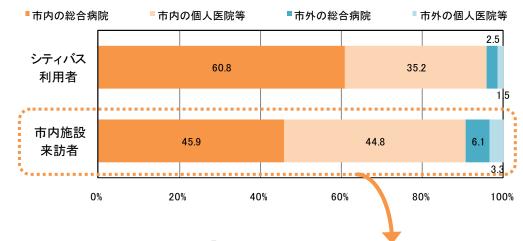
### 1. 日常的な「買い物」や「通院」の行き先との整合

【アンケート調査にみる「通院」の行き先】 ※利用者アンケート調査、市内施設来訪者アンケート調査より

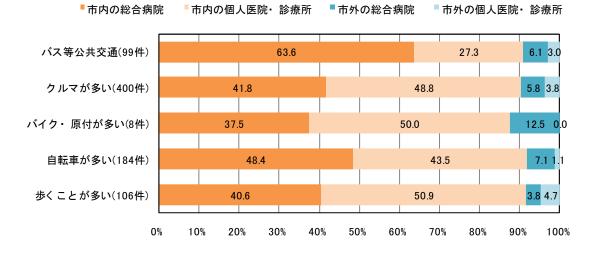
- 市内施設来訪者の「個人病院・診療所」の割合は、シティバス利用者と比べて高い。
- バス等の公共交通利用者は、「総合病院」への依存度が高い。

### 【アンケート調査での「主な通院先」】

主な「通院」先(利用者/施設来訪者アンケートより)



#### 【普段の利用交通手段別に見た「主な通院先」】

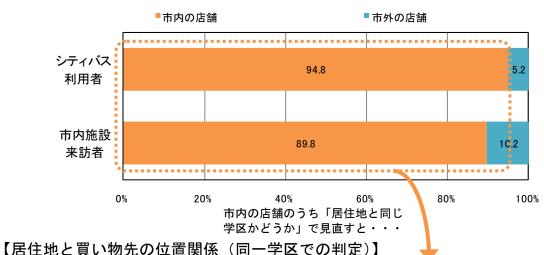


【アンケート調査にみる「買い物」の行き先】 ※利用者アンケート調査、市内施設来訪者アンケート調査より

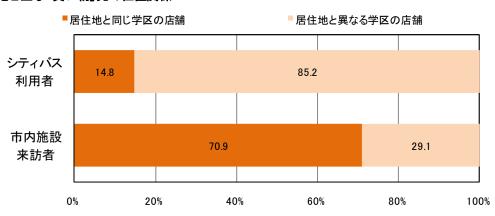
- 市内施設来訪者は、7割が居住地と同じ学区で買い物。
- シティバス利用者は、1割のみが居住地と同じ学区で買い物。

#### 【アンケート調査での「主な買い物先」】

主な「買い物」先(利用者/施設来訪者アンケートより)



#### 居住地と主な「買い物」先の位置関係



### 視点4 今の路線に対する要望

### 1. バス停設置・サービス向上等に対する要望

- ○バス停の新設やサービス向上に対する要望あり。
- ●現路線へのアクセスがしづらい地区や、バス停間隔が長い区間の中間点への設置要望あり。

### ■バス停新設に対する主な要望(例)

- ・現路線へのアクセスがしづらい地区に設置
- ・バス停の間隔が広い区間の中間に設置
- ・地元の個人医院、店舗の近くに設置
- 新たにできた店舗などの近くに設置・・など

### ■サービス改善への主な要望(例)

- ・運行本数の増加
- ・バス停まで距離が遠い、バス停が少ない
- 路線が少ない、偏っている
- ・朝早く、夜遅くに使えるダイヤの新設 ・・など

# 【参考 バス停の間隔が広い区間】 ※バス停間隔 600m以上の区間 (バス停勢力圏 300mを超える区間)



### 2. 利用者と施設来訪者の求めるバスサービス水準の違い

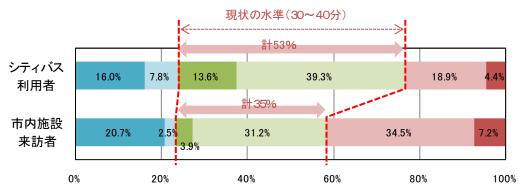
- シティバス利用者の5割以上が30~40分の現状の水準の乗車時間を許容
- シティバス利用者、市内施設来訪者ともに、約半数がバス停まで 200~500m の現状の水準を許容

### 【利用者と施設来訪者の求めるバスサービス水準の違い】 ※利用者アンケート調査より

■目的地までの乗車時間の限界値

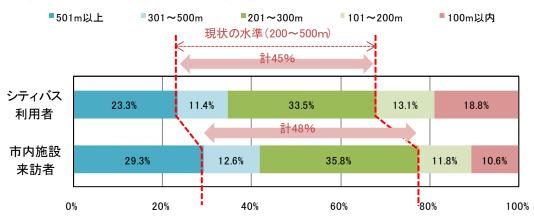
#### バスの乗車時間の限界値(利用者/施設来訪者アンケートより)

■何分でも良い ■最大1時間以内 ■最大40分以内 ■最大30分以内 ■最大20分以内 ■最大10分以内



### ■最寄りバス停までの距離の限界値

#### バス停までの距離の限界値(利用者/施設来訪者アンケートより)



# 3. フォローアップ調査に基づく、今後の取組みの方向性について(まとめ)

### フォローアップの視点(現状の整理・確認)

# 4 公共交通空白地域の検証

- ●公共交通空白地域の位置は、見直し当時より変化なし
- ●公共交通空白地域の高齢者人口の分布状況も、大きな変化なし。

# **豊 日常の移動手段としての浸透**

- ●利用者は依然として増加傾向を示している。
- ●買い物や通院では、月1回以上の定期的な利用が発生。
- ●市役所や市民病院への利用は多く、日常的な移動手段として浸透。

# り 通院・買い物の行き先

- ●バス利用者が「個人病院・診療所」を利用する割合は、 クルマ利用者に比べて低い
- ●シティバス利用者が居住学区内で買い物する割合は、1割のみ

# 🦷 今の路線に対する要望

- ●現路線へのアクセスしづらい地区や、地元店舗等を利用しや すいバス停設置の要望あり。
- ●バス停間隔を短くしてほしい要望あり。

### 運行目的に対する現状の評価

- 骨屋間帯における高齢者の 市内の移動手段の提供
- 〇通院、買い物などに、月1回以上 定期的に利用が発生
- △地元店舗や個人病院などへのアク セスに一部未対応。
- 2 公共交通空白地域の解消
- 〇当時の公共交通空白地域に対して 対応できている。
- △バス停間隔が広いなどアクセスし づらい地区あり
- 3 市民病院や市役所など 公共施設への接続
- 〇市民病院や市役所への利用はどの 路線でも発生
- ○シティバス利用者の場合、とくに 市民病院への依存度が高い

### 今後の取組みの方向性

# 既存バス路線を基本に改善

方向性

既存路線をより使いやすく するためのバス停の設置

方向性 **2** 

> 地元の店舗や個人病院へ アクセスできるバス停の 設置

方向性

運行実態に合わせた ダイヤの設定